

International Day of the World's Indigenous People

1994年にこの記念日ができました。ところで、先住民っていったい誰の事なんでしょうか？世界には、3億7000万人以上の先住民が、70を超える地域に住んでいるといわれています。彼らは、豊かで多様な文化、宗教、慣習、言葉、歴史を持っていました。

なぜこんな日があったの？



1つの例を紹介します。

オーストラリアは、かつてはイギリスの植民地（収容所）として、多くの外国人がヨーロッパから入ってきました。その波に押され、もともとオーストラリアという大陸で生活していた先住民たちは、脇に追いやられてしまいました。先住民に関する国連宣言では、先住民は集団であっても、個人であっても、完全な人権と基本的な自由を享受するとされていますが、しかし現実問題として、彼らはあくまで少数派としてみなされ、実質的に様々な制限があります。

出典：
http://www.flagsaustralia.com.au/AustralianFlag.html

先住民は、何に困ってる？

先住民がさまざまな保障が受けられていないって、具体的に何に困ってるの？次のうち、どれでしょう？

1. 教育の問題 
2. 医療の問題 
3. 仕事の問題 

答えは...**全部**です！

1. 先住民と呼ばれる人々は、通常と異なる価値観、文化を持っています。そのため、他の人々と一緒に教育を受けるのは難しいとされています。
2. 伝統的な医療方法に頼っていることが多く、衛生環境が良いとは言えません。
3. 言葉の違いもあり、肉体労働もしくは、先住民族内で限られた仕事をしていることが多くあります。

コラム

「先住民」は、「先」に「住」んでいた「民」と書きますよね！では、彼らを「先住民」と名付けたのは誰なのでしょう。それは間違いなく、「後」から入ってきた人々なのです。伝統を重視する先住民と、近代化を図る社会、うまく両立していくためには何ができるのでしょうか。保障されるべき先住民の権利を考えると同時に、**自分の持つ文化**とは何なのか、見直してみるのも面白いかもしれませんね！

先住民の問題は意外と身近？！

日本にも先住民の権利をめぐる問題は存在しています。まず、北海道のアイヌと呼ばれた人々です。そして次に沖縄の問題です。公式では、アイヌは北海道の先住民として認められていますが、沖縄の人々は、完全に日本人として解釈されています。

いわゆる「アイヌ文化振興法」は、アイヌの持つその貴重な文化を守ろうとしたものです。



Together, We Can CHANGE the World
はじめてみよう！あなたにできること。



もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

- ・好きな国に、先住民族の問題がないか調べてみよう
- ・先住民族の伝統料理や文化について調べてみよう

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。

アクションのヒントはコチラで検索！

FTCJ 活動ヒント